ＨＰ公表用

令和３年度第２回米沢市地域公共交通活性化協議会　会議録（要点筆記）

１　日　時　令和３年８月３０日（月）１３：３０～１４：２０

２　場　所　米沢市役所　庁議室

３　出席者（詳細別紙）

（委員）青柳秀夫委員、安部徹委員、今村元一委員、植野みどり委員、大河原真樹委員、太田和広委員、河田亜依委員（オンライン出席）、黒須敬子委員、佐々木紀子委員（オンライン出席）、佐藤文俊委員、澤村和則委員（代理出席 加藤知美首席運輸企画専門官（オンライン出席））、鈴木正幸委員、高澤由美委員（オンライン出席）、髙橋心委員（オンライン出席）、田中廣太郎委員、吉田一也委員、吉田正幸委員（代理出席 金子徹連携支援主査）、吉永和雄委員（代理出席 鷲尾仁主課長補佐）

※欠席者：阿部進一委員、石山秀一委員、手塚剛委員、山田記子委員

（オブザーバー）山形県みらい企画創造部 酒井達朗企画調整課長

（事務局）遠藤企画調整部長、佐藤地域振興課長、鈴木地域振興課長補佐、相田副主幹、菊地主任、佐藤主任

４　会議録

⑴　開会　司会：相田副主幹

令和３年度から人事異動等により新たに委員となった方に副市長から委嘱状を交付した。

⑵　あいさつ　副市長

来月 12 日まで、山形県独自のコロナ対策ということで、私たちの行動はかなり自粛の方向に進んでいる。テレビなどを見ると、東京都で若者がワクチンを接種するために長打の列をなしており、早く全国民に行き渡らせたいと思っている。特に米沢市民の方には、とにかく全員にワクチンを打っていただきたいという希望を持ちながら、それがこのコロナ禍の収束に繋がっていくのではないかなと思っている。

コロナがまだ収束しないと、公共交通もなかなか多くの方に御利用いただけないということになるので、何とか早く収束するように努力したいと思っている。

⑶　議事

規定に則り、大河原会長が議長になり、議事に入る。

①米沢市地域公共交通計画（骨子案）について

事務局が資料１により説明

委 員 等：事務局の説明で、タクシー乗車に対する補助を検討するというような話があった。既に高齢者や障がい者に対する補助制度があったと思うが、一般の利用者の方に対しても今後対応していこうという考えなのか。

事 務 局：地域の中で需要や公共性のあるようなものに対して補助を考えていければと思っている。例えば、デマンド交通、周辺部から市街地へ行くとい

うような交通になるが、地域内のスーパーや病院に行くなど、そういった需要も今後考えられる。そういったところに、一定程度市から支援させていただきながら、移動を確保するといったことをやりたいと思っている。地域の方々の御協力が非常に重要になってくるので、地域の需要把握や制度設計にあたっては、地域の方々と一緒に考えながら取り組んでいければと考えている。

委 員 等：通学時などの利便性向上という話があったので、感触を伺いたい。今年の 4 月から、コミュニティバス、市営バスも含めて、対応は遅れているが、主要な乗換検索に全部対応されるようになった。実際、利用者の検索の状況はヒアリングしているか。

事 務 局：そういった学生の状況は確認していない。今年度、学生に対し、活動の状況や需要を確認するために、アンケート調査を予定している。その中で、オブザーバーからの御助言についても確認をしていきたい。

委 員 等：今まで検索に引っかからず使っていない、使えるようになったのを知らない学生がいると思う。ヒアリングが大変であれば、乗換検索事業者が検索履歴を把握しているはず。どの地域でどの検索がされているか、傾向など事業者に聞いてみるのもいいのでは。相談に乗っていただけると思うのでアプローチしてもいいと思う。

事 務 局：今回のアンケート調査の中でも、学生の方には、そういった検索ができるというようなことも周知したい。検索エンジンの方も、御助言いただいたとおり、いろいろデータを取り寄せられるよう調整していきたい。

委 員 等：今の協議会のメンバーで私立高校の代表者と観光業、施設の方々の巻き込み状況はいかがか。

事 務 局：高校からは、市内高等学校長会から興譲館高校の先生に参画いただいており、私立学校の先生は直接入っていないが、市内高校全体の代表として参画いただいている。観光関係の方については、商工会議所から、安部事務局長に参画いただいている。

委 員 等：これからとは思うが、県単位でなかなか全面的にできなかった部分でもあり、市の協議会には密度の高い情報が集まるかと思っているので、巻き込んでいただければと思う。

委 員 等：山交バスが先に IC カード導入ということだが、市民バスは導入される計画はないのか。

事 務 局：市民バスにも IC カードの導入を予定しており、来年 3 月開始に向けて準備を進めている。後ほど詳細を説明する。

委 員 等：自分がユーザーとして使った時に、米沢駅から大学まで Google で検索をしたときに、経路がぱっと出てきて非常に感動した。米沢市民で市民バスを利用している人の中では、バスナビゲーションの方が今のところ認知度が高いと思う。ホームページを開いた時やバス停に「Google 検索ができるようになりました」というような、広報ができれば認知度が高ま

るのではないか。もう１点、事業について、いつまでにはこれをぜひやりたいなど、これはすごい時間かかるかもしれないけれども最終的にはぜひ展開したいというようなことがもう少しわかりやすくできると、関係者の間でも共有しやすい。

事 務 局：様々な形で利用者に届くようPRしていけるようなやり方をこれから検討しながら、具現化していきたい。また計画全体について、特に重点的に進めるところの明示や、時系列でロードマップのような形で示すなど、わかりやすく、皆様にご理解いただけるような中身にしていけるよう、今後様々な御意見をいただきながら精査していきたい。

②今後のスケジュールについて

事務局が資料２により説明

委員からの意見質問はなし

⑷ その他

③市民バスへのＩＣカード導入について

事務局が資料３により説明

委員からの意見質問は次のとおり。

委 員 等：Suicaだけが利用できるのか。PASMOは使えるのか。自動でチャージできるように自分はしているが、一般の人のチャージはどこでできるようになるのか。

事 務 局：Suicaについて、カード自体は、地域連携ICカードという、山交バスと庄内交通が発行するカードになる。Suicaとして全国と連携したカードになるため、実際今お持ちになっているSuica自体もそのまま利用いただける。なお、SuicaはJRのシステムだが、全国のPASMOやICOCAなど、いわゆる10カードと連携しており、同じシステムを用いるのでPASMOも使用可能。チャージの方法については、今コンビニなどでもSuicaはチャージができるようになっており、地域連携ICカードも同様の機能が付与されているため、コンビニなどでのチャージが可能。ただし、オートチャージの機能はなく、現金でのチャージのみになるが、独自ポイントも山交バス等で検討されているようなので、詳細が決まり次第、情報提供があるかと思う。

会　　長：今お聞きしていて、よく分からなくて、難しい。便利だったら多くの人が使えるように、もっと周知が必要と感じた。導入開始時には使い方も周知していただきたい。

委 員 等：私自身、ICカードを使ったことない。使い方がわからない、チャージの仕方ももちろんわからない市民がほとんどだと思う。年配の方に、ICカードを普及させるために、説明会とか、無料乗車会とか、何か工夫をしないと普及しないのではないかと思う。

事 務 局：今まで使ったことがない方は、ルールもわからないと思うので、丁寧な説明等も考えていきたい。

委 員 等：参考までに、Suica の決済手数料は何%か。

事 務 局：市に対しては、維持管理費用として、契約の一部にあたるため、Suica の個別の決済手数料は具体的にわからない。

④ＮＣＶによる地域ＢＷＡ導入に伴う Wi-Fi 設備等の設置について

事務局が資料４により説明

委員からの意見質問はなし

⑸ 閉会

以上